

初夏の尾瀬 大江湿原を散策



大江湿原の高山植物を楽しみながら元気にトレッキング



ニッコウキスゲ

7月7日(土)、山ガールと山男達25名、はつらつ(?)と尾瀬沼をめざしてトレッキングを楽しみました。沼山峠から大江湿原、尾瀬沼まで高層湿原を味わい、尾瀬沼湖畔で休憩昼食。途中、尾瀬の紹介・自然保護に尽くした平野家墓所に立ち寄り、尾瀬国立公園のよさがこれからは続くことを願いました。東北最高峰の燧ヶ岳は雲に隠れていました。自然の持つ素晴らしい景色を今年も堪能できました。近年、シカの被害なのか、ニッコウキスゲの大群落にはお目にかかれませんでした。ハクサンコザクラ、サワラン、コバイケイソウなどの花を楽しむことができました。

尾瀬トレッキング



燧ヶ岳をバックに尾瀬沼で

ファミリーパークで利用者4万人達成

夏休みやお盆の時期に大変多くの皆様にご利用いただき、9月12日には利用数が4万人となりました。これまでに、幼児の利用が多いという特性を生かし、「うちわ作り」「お月見のタヌキ作り」などのワークショップに力をつけてきました。今後も「ミノムシ作り」や「リース作り」などの季節感あふれるワークショップを企画しています。



みんなで作ったタヌキを貼って、お月見の掲示物を完成させました。

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第19号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
会長 小野孝雄

- 1面 「尾瀬トレッキング」・「ファミリーパークだて」情報
- 2面 子どもチャレンジ教室「キャンパス」・「国立科学博物館と上野動物園」
- 3面 「しゃべり場」・手作りハーブソーセージ教室・「らぶらぶDate」長岡の鎮守・「らぶらぶDate」歴史探訪文のいふき・大人の料理教室第1回 第2回
- 4面 おらが町内会パート2 川原町・田町共同企画



尾瀬沼の3本のシンボルツリーを背景に

摺上川の氾濫と西念法師様 川原町・田町

◆西念法師について

栃木県で生まれた西念法師は、終生行者として暮らそうと考えて、南無阿彌陀仏と念仏を唱え、安楽往生を願う、諸国行脚の身となり何年かを過ごしておりました。

奥州街道を通っていて長倉村田町(伊達市田町)に差し掛かった時のことです。街道の傍らに長い間、雨や風にさらされ、傷みの激しい「薬師如来」の像が立っていました。西念法師様は「これぞ仏の引き合わせ」と喜び、そばに小さなお堂を建て、如来様をお移しして、朝は冷水を浴びて身を清めてお経を読み、夕べには念仏を唱えて、お勤めに励んでおられました。

西念法師様は、常に「薬師堂を建立したいが、この願いをかなえることなく私が死んだときは、墓や塔婆をたてても供養にならない。お堂を建ててくれれば涅槃に往生することになる。」と弟子の浄心様に話されていました。それは意のままになりませんでした。その頃、村の南端を流れる摺上川がたびたび氾濫しては、近くの田や畑をながし、百姓

◆西念塚と西念霊堂

川原町の「けやきのひろば」公園に西念法師様の供養碑があります。正面に「法師西念不上位」とあり、裏には寛文八戌申年四月八日入定と刻まれています。川原町内会では毎年、西念法師様をしのび四月第二日曜日に供養祭を行っています。西念霊堂は西念法師奉賛会によって昭和18年に建立された「西念法師霊堂」の施主は三門 寛師であります。この様な経過をたどり平成六年六月に老朽化に伴う補修工事を行い、同年十月三十日に修復が完成、



西念霊堂



西念塚

落慶法要が執り行われました。(川原町のあゆみ)より抜粋)

◆薬師堂

伊達小学校の「郷土誌」に、字田町の薬師堂縁起を載せ、寛政年間、保原長谷寺の末寺で、瑠璃光山東光寺という真言宗の寺があり、久しく空寺になっていたこと、ここに野州都賀郡栃木村の西念という僧侶が止まり、托鉢によって得た金で薬師堂を建てたことを記している。山号が瑠璃光山であったとすれば、本尊は薬師如来をまつる薬師堂を西念が建立したということなのだろう。(伊達町史より)

現在、田町薬師堂は旧暦の4月8日、毎年祭礼を行っています。

川原町町内会長 鈴木一義
田町町内会長 吉田 譲

◆伊達市共助社会構築推進事業 モデル地区に

田町では伊達市からモデル地区指定を受け(平成29〜30年度)、平成30年1月から、地域通貨を使って共助社会構築のための事業を実施しております。現在、要支援者(手助けを受けたい人)11名、支援者(手助けができる人)23名です。お手伝いしている内容は今のところ、ゴミ出し、雪はき(冬期)です。「要支援者の中には、『まだまだ動ける内は世話になりたくない』と言う人もおります。それはそれで体のためにも良い事だとも思っております。それでも是非共、御利用をお勧めしております。運営母体は現在7名の委員会(町内会役員、長寿会、福祉会、民生委員、支援者)で運営しております。

お手伝いお品書き

自宅片付け、洗濯、ゴミ出し、お使い支援、ペット世話、定期的な見守り、雪はき、電球交換、庭の手入れ

田町町内会長 吉田 譲

編集後記

今年度前半の活動の様子をお届けします。各世代の方々の活発な活動からあらたな元気をもらうような気がします。

「川原町・田町の共同企画」いかがでしたか? 町内会同志の連携も地域の絆でしょうか。後半の活動へのすすんでのご参加をお待ちします。(八島)



↑本日の目玉！生ハム原玉

←お酒と食事を楽しみながらおしゃべり

第一回しゃべり場

8月28日、今年度初めての「しゃべり場」を開催しました。自治協の事業の記録写真を見ていただきながら、歓談しました。これまであまり顔を合わせる機会がなかった方々も、この場をきっかけに、お互いの生活や趣味などについて話し、交流を深めていました。「次はこんなことがしたいね」といった前向きな意見が各テーブルから聞かれ、楽しい夜となりました。

手作りハーブソーセイジ教室



↑タネを細長くしてソーセイジの形に

おしゃれなランチプレート

ひき肉に5種類のハーブを混ぜ、こねてラップに包み、それを沸騰させないお湯で15分程度ポイルしました。もう一つの味を楽しんだのが、夏野菜にソーセイジをつめてホットプレートで焼きました。出来上がった2種類のソーセイジをお皿に盛り付けヨーグルトソースとバジルソースでいただきました。また、5種類の生ビールで引きビールを行いました。



↑進行は中学生

濃尾三川(木曾・揖斐・長良川)の氾濫と阿武隈・摺上川の共通は、水難?そして鎮守様へ

「祭を前にして「長岡の鎮守」を考えて見ませんか?」
7月10日(火)、長岡天王例大祭を直前に控え、「熱田・八雲の両社の熱田神宮からの神霊勧進を推理する」と題して八島俊雄先生の講話を伺いました。濃尾平野と伊達盆地の西根郷・長岡の共通性は?
八雲の社は「午頭天王」、熱田の社は「熱田大明神」と呼ばれ、隣り合わせの村の鎮守でありながら、両社合わせて「長倉村・岡村の天王様」等と呼ばれていたのは如何に。
当日、伊達中2年生の「職場体験」があり、進行、質問・感想等講座のお手伝いを体験していただきました。講師の先生からも励ましの言葉がありました。

らぶ2 Date IV 大地編①

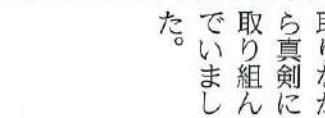


↑竪穴式住居に炉が二つある複式炉を持つ白山遺跡→縄文土器を持って、触れて、感じて



「あぶくま川沿いの縄文のいぶき」
9月21日(金) 24名で福島市飯野町、「和台遺跡」発掘調査現場を視察。あぶくま川沿いの高台に、巨大な縄文のムラがあり、沢山の竪穴式住居(複式炉が特徴)を見学。あいにくの雨天で、発掘作業は中止でしたが、解体中の同じ複式炉を持つ、白山遺跡の竪穴式住居の複式炉等をつぶさに見ることができました。
その後、和台遺跡の出土品収納施設(旧明治小)で福島市の担当者・講師の西戸純一さんによる講話と、実際に縄文土器を持って、触れ、感じる貴重な体験をしました。解説、地元発掘者の話、観察・体感と縄文をいぶきに触れることができました。

らぶ2 Date IV 歴史探訪①



こんぶだしの取り方を学んだ「優しい味」

大人の料理教室 第二回 家庭料理
9月27日、三島屋の矢野邦大さんに、おいしいご飯の炊き方と、和食の基本となるだしの取り方を親切丁寧に教えていただきました。一番だしの茶わん蒸し、二番だしの吸い物を作りました。参加された10名はメモを取りながら真剣に取り組んでいました。

大人の料理教室 第二回 魚料理



かつおには必ずいるというアニサキスを探す

大人の料理教室 第二回 魚料理

こんぶだしの取り方を学んだ「優しい味」

子どもチャレンジ教室 伊達・桑折合同キャンプ



火山の壮さに驚く お釜の色がとてもきれい!



カレーおかわり!



火の明るさと熱を感じて



これは何の葉?



こうやって串に刺すんだよ

8月1日から3日まで、南蔵王野営場で、伊達西地区と桑折町の子どもたち30名が合同でキャンプをしました。
1日目の熊野岳登山ではお釜の美しいエメラルドグリーンに見入り、ナイトハイキングでは夏の三角形や火星を観察しました。
2日目は沢登りとイワナつかに挑戦。腰まで水につかるような難所も、手を差し伸べあいながら切り切りました。イワナの内臓を自分で恐る恐るとり、塩焼きにして味わいました。
夜のキャンプファイヤーでは、ゲームや各班の出し物をし、笑い声が響いていました。
3日目は森の案内人さんとも自然観察に出かけ、自然の不思議にふれました。
毎回の食事はかまどや飯ごうを使い、火と格闘しながら、協力して作りました。日を追うごとに手際がよくなり、片付けも素早くまりました。
子どもたちのエネルギーと好奇心の大きさに、大人たちも元気をもらいました。



水の冷たさにもすぐに慣れた 滝登りに挑戦!

子どもチャレンジ教室 国立科学博物館と上野動物園



シロナガスクジラの前で



骨を見て性別を当ててみよう



雨でもにぎやかなサル



↓子どもたちに大人気のハシビロコウ



↑ハンモックに乗っている香香

今年で3回目となる秋の名物事業「子どもチャレンジ教室 国立科学博物館と上野動物園」へ、台風が東京に接近しそうな9月29日に小学4〜6年生20名で行ってきました。
博物館では子どもたちの興味がわく展示物が多種多様ありました。一つの展示物に自分が納得いくまでスタッフに質問したり、説明文を目を輝かせながら真剣に読んでみる子どもたちでした。
上野動物園ではとうとう雨になりましたが、子どもたちは、お目当ての動物を見るために雨に濡れながらも一生懸命に頑張っていました。
パンダの香香(シャンシャ)は、大好きなハンモックに乗って笹をたくさん食べていました。
子どもたちは自ら学び、自ら体験した一日でした。